



令和6年度 さんぽく小学校グランドデザイン

さんぽく小学校の教育課題

- 学習の質の向上
- 正しい言葉遣い
- 学習規律の定着
- 特別支援教育の充実
- 家庭学習の定着
- メディアコントロール

地域の願い・子どもの願い

- 〈保護者の願い〉
- 善悪の判断と行動力の育成
 - 親切心・思いやりの心の育成
 - あいさつ習慣の定着
- 〈子どもの願い〉 R4 末アンケートより
- いじめのない明るく楽しい学校
 - 元気あふれる、挨拶が響く学校
 - 楽しく学び合える、語り合える学校

目指す子ども像（教師）

- 他と関わりながら、納得がいくまで考える子
- 相手の立場になって考え、行動する子
- 望ましい生活習慣を身に付け、進んで運動する子

教育目標 ともに のびる

資質・能力の育成 ともに学び合う子

①基礎・基本の定着

- 音読、視写、計算の繰り返し指導
- 全校漢字・計算テストの実施
- 学習規律の定着（スタディー7）
- 家庭学習習慣の定着
- 読書に親しむ習慣づくり

②主体的・対話的な学習の充実

- 「村上市の授業づくり」に基づく授業改善
- 「聴き合う」意識の定着
- よさや可能性を伸ばす評価
- UDLの視点からの授業づくり
- ICTの効果的な活用

③生活科、さんぽく科（総合）の充実

- 地域課題に根ざした学習の推進
- 地域のよさを語り、地域を元気にする学習過程
- 地域人材の効果的な活用
- 児童の意見・発想を活かす単元構造

豊かな人間性 ともに認め合う子

①思いやりの心の涵養のために

- 子どもが言葉を駆使して話し合う道徳授業の充実
- 心が温かくなる言葉をかけ合う日常の具現化
- 縦割り班活動での垂範率先の奨励
- あいさつ運動の実施「おさきにげんきにめをみて」

②いじめ・不登校防止のために

- 「さん付け」「生活のきまり」の徹底
- 同和教育を中核とした人権感覚の涵養
- 人権教育、同和教育の授業の研修・実践

③未来を見つめる力を育成するために

- 社会性育成を背景に位置付けた学校行事
- キャリア教育の充実（生き方を考える学習）

健康・体力 ともにきたえ合う子

①体力向上のために

- 体力テストの分析と通年的改善策の実施
- 学習カードの活用と指導の工夫
- 「さんぽく小トレーニング」の実施
- さんぽくスポーツ協会との連携
- 外遊びの奨励

②望ましい生活習慣の育成のために

- メディアコントロールウィーク（小中連携）
- 「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨
- 保健授業の実施
- 保護者同士の情報交換の場の設定

子どもと向き合う時間を充実させる業務改善と働き方改革

学校運営協議会（中学校区）を中核とした学校と地域との「ともにのびる」の推進
 育てたい子ども像 郷土に学び 郷土を語り 自信と誇りをもって たくましくのびる子ども

地域と ともにのびる

- 学校行事やボランティアへの参加
- 地域行事への児童の参加啓発
- 「さんぽく祭」への参加
- 地域コーディネーターとの連携
- まちづくり協議会との連携

保護者と ともにのびる

- PTA活動の充実
- メディアコントロール
- 学校評価への参加
- 家庭学習習慣の定着
- 学校行事や学習への参加

関係機関と ともにのびる

- 社会教育機関との連携
- さんぽくスポーツ協会 学童保育所 緑の少年団
- 山北中学校との連携・交流
- 他地域の学校との交流

村上市教育基本計画 基本目標 1

「郷に生きている」ことに自信と誇りを持ち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力（知力・気力・体力・徳性）を備えた子ども